Press Release



2022 年 12 月 13 日 フューチャー株式会社 (東証プライム:証券コード 4722)

フューチャー、医療分野のデジタル化事業に本格参入 PHR ソフトウェア基盤を提供開始 ~自身の健康・医療データを基にした"患者中心の新しい医療"の実現をサポート~

フューチャー株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役会長兼社長 グループ CEO:金丸 恭文、以下「フューチャー」)は、医療機関や製薬会社等に向けて PHR (Personal Health Record:個人の健康・医療データ)サービスを安全かつ迅速に展開するソフトウェア基盤「Future Medical Base」を独自開発し、2022 年 12 月 1 日より提供開始しました。これにより医療分野のデジタル化事業に本格参入します。

フューチャーは、IT によるイノベーションで医療課題の解決に取り組む専門チームとして、2020 年に「Healthcare Innovation Group」を立ち上げました。同グループは、医療機関や製薬会社のデジタル化を、経営コンサルティングとIT の実装で支援する「医療 DX 事業」と、医療ベンチャーなどと新しいデジタルサービスを共創する「デジタル・イノベーション事業」の2軸で事業展開しています。

今回新たに提供する「Future Medical Base」は、自身の健康・医療データを基に主体的に医療に関わる"患者中心の新しい医療"を支援するためのソフトウェア基盤です。厚生労働省・経済産業省・総務省による「3省2ガイドライン」に準拠した堅牢なセキュリティシステムのもと、ID 管理や認証、PHR データの記録管理が可能です。また、医療データ連携の標準規格「HL7® FHIR®」や他規格に、API (Application Programming Interface)で柔軟に連携できる高い拡張性を有しています。「Future Medical Base」は、サービス事業者が契約するクラウド上に展開するため医療機関や製薬会社などのサービス事業者自身が PHR を保有できます。あわせて、お客様が自身の事業特性を活かした PHR サービスを迅速かつ安全に提供できるよう、フューチャーは、PHR サービス全体における戦略コンサルティングから IT 実装まで一気通貫で支援します。

PHRサービス全体を、戦略コンサルティングからIT実装まで一気通貫で支援



■「Future Medical Base」の特長

「Future Medical Base」は、以下の機能を取り揃えた PHR ソフトウェア基盤です。

- ✓ PHR サービスの基本機能:ID 管理・認証、PHR データの記録管理、等
- ✓ 堅牢なセキュリティ:厚生労働省・経済産業省・総務省による「3省2ガイドライン」に準拠
- ✓ 高い拡張性:医療データ連携の標準規格「HL7® FHIR®」や他規格に、API で柔軟に連携

■フューチャーが提供するコンサルティングの特長

- ✓ <u>戦略コンサルティング</u>: PHR サービスの構想段階から支援し、事業戦略からデータ管理・サブスクリプション課金等の機能・業務フローに至るサービスアーキテクチャ全体を共創
- ✓ <u>IT 実装</u>: 共創したサービスアーキテクチャに沿って、「Future Medical Base」のカスタマイズ及び医師・スタッフ・患者等が利用する Web・モバイルアプリケーションを開発・実装

デジタル技術を活用した新しい医療サービスの実現支援のニーズは高く、「Future Medical Base」の提供等で事業を加速するとともに、今後は、医療 IoT 端末との連携で集積される PHR のビッグデータをフューチャーが強みとするリアルタイムアーキテクチャと AI を活用することで、デジタルヘルスサービスへとさらなる機能拡張を図ります。

- ■本件に関するお客様からのお問い合わせ先 フューチャー株式会社 Healthcare Innovation Group 中元 https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/others_entry.php
- ■本件に関する報道機関からのお問い合わせ先 フューチャー株式会社 広報:西田、石井 TEL:03-5740-5721 https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php